

学校長通信 No. 16

今年度の重点目標と基礎基本

本校は、今年度入学生より普通科専門コース設置校に移行いたしました。一方、2年生・3年生につきましては、普通科総合選択制のもとでの入学生となりますので、異なるカリキュラムをもった生徒達が混在する2年間を過ごすこととなります。その違いは、専門演習科目の内容の濃淡と自由選択科目の選択幅の大小ということに尽きると思いますが、生徒達の様々な進路選択に対応できる体制を整えている。難関大学現役合格への実績を向上させつつ、特に児童保育・医療看護分野において独自のノウハウを蓄積し展開している。という点では共通しております。

そんな中、本校では今年度も学校経営計画を策定し、それにつきましては間もなく公開させていただく所存でございますが、計画として一定ボリュームもございますので、本日はそれをコンパクトにまとめ先行してお話させていただきたいと思っております。

平成27年度 日根野高等学校 重点目標

新しいカタチの普通科高校（専門コース設置校）へのキックオフ

- ①統合キャリアプログラムの実践 → 総合学習＋キャリア教育＋進路指導の系統的3年計画
- ②全生徒の自主学習時間2時間超の実現 → 自習・講習を提供する空間と機会の拡大
- ③キャリアガイダンスセンターへの来室生徒数の拡大 → 目標設定と意識・動機付け
- ④プレゼンテーションルームの稼働率アップ → プレゼンテーション能力の開発・強化
- ⑤体験的学習機会の拡大 → 校外学習・見学、部活と学校行事の質的量的強化

以上が、今年度の重点項目となります。学校経営計画自体は、もっと詳細に書きこまれておりますが、現場レベルで実行するにあたりましては、このようにシンプルに絞り込んでおいたほうが分かりやすく、同時に実行しやすくまた継続もしやすい、と思っております。

ご覧いただけますように、私たちの計画は、特に目を見張るような新規の取組みや仕掛けを施しているわけではありません。むしろ、よく見聞きするような項目が並んでいるとも言えるでしょう。しかし、私たちは次のように考えています。

例えば、全国レベルで申し上げますと、今年度の学校事業において最も注目されるであろう活動のひとつに、土曜授業導入が挙げられるのではないかと思います。全国の多くの中学校・高校で「学力向上」を掲げ、きっといろいろな取組みがなされることと思います。本校におきましても、「学力向上」は最重要課題のひとつですので、当然、早く取り組んでいきたいと思っています。ただし、土曜授業が実効性を上げるための前提があります。それは生徒達が「もっと勉強したい」と思っている、ということです。もちろん強く望んでいる生徒も一定数います。が、私の見る所、本校におきましてはまだまだ少数派だと思います。ですから、今の状態では、希望する生徒を対象にして補習・講習で個別展開する体制のほうが実効性が高い、と判断するのが正しいのかもしれませんが。

しかし、それでいいというわけではありません。気持が向いているとか向いていないだとかは関係なく、とにかくまず学習しながら習慣づけていくという手法もひとつの見識ではあります。が、それよりも、一人でも多くの生徒に土曜授業を望んでほしい。もっと勉強したいと言ってほしい。そんな状態を作り出すことが、私たち教員に最も望まれる課題ではないかと思っています。そのために、まずは（放っておいても）自主学習が2時間くらいできる生徒になってほしい。更にそうなるためにキャリアガイダンスセンターに何度も足を運んで「なぜ勉強する必要があるのか」をきちんと理解しておいてほしいと考えます。私達は生徒がセンターに足を運ぶのに敷居が高くならぬよう、広くて明るい部屋と統合的キャリアプログラムを用意しました。また、将来の自分を考えるきっかけとなる体験的学習機会も数多く準備いたします。これらを利用して生徒全員が毎日2時間以上の自主学習する姿が、最も必要とされる基礎基本であり、ひとつの理想形であると考えます。そして、本校の生徒達であれば、必ずやその期待に十分応えてくれるものと確信しています。